

愛媛支部

ひめ通研定期総会

4月26日（土）、愛媛県視聴覚福祉センターで、定期総会を開催しました。

午前の議事で、今回大きな変更があったのは組織編制です。これまであった学習部、医療・介護部、組織部の三つを合わせた「事業部」が新しくできました。これを機会に、会員の皆さんにとって参加しやすい学習の場や、通研をさらに身近に感じてもらえるような交流の場を提供していけたらと思っています。

午後の記念講演では、全通研副会長の宮澤典子氏にお越しいただき、「全通研とわたしたち」というテーマでお話をうかがいました。「全通研の誕生日はいつ?」「最初にできた支部はどこ?」などのクイズを通して意外と知らない全通研の歴史に触れたり、

「アイラブパンフ運動の思い出は?」「2007年に愛媛で開催された全通研夏集会の思い出は?」など、会場からも参加する場面があったりと、楽しい講演でした。一人ひとりが全通研とのつながりを感じ、それぞれにとっての「全通研とわたし」を考える時間となりました。



香・通・研 定期総会

香川支部

4月20日（日）香川県聴覚障害者福祉センター3階研修室にて定期総会（出席者20名、委任状63名）を開催しました。曾我部会長挨拶の後、（公社）香川県聴覚障害者協会の近藤龍治理事長からご祝辞をいただき、議事に入りました。結果、全議案承認をいただき、滞りなく総会を終えることができました。ありがとうございました。

今回、初めて総会に出席された2名の方に感想をお聞きすると、「活動の内容がよくわかった。」「来年は、友達を連れて出席します。」「嬉しいお言葉をいただきました。2024年度は、会員が121名と前年度より18名増えました。」「香通研に入って良かった。」「これからも続けたい。」「と思っていただけるように、2025年度も常任委員一同力を合わせて活動していきます。

※今年度は、全国ろうあ者体育大会が香川で開催されます。皆で力を合わせて、大会を盛り上げていきます。どうぞご協力お願いいたします。



とさ通研2025年度総会・第1回学習会

2025年度の総会が4月20日開催されました。



前田会長より、「2024年度注目すべきは『高知県手話言語に関する条例』が制定されたこと。40年前には想像も

できなかったと自身の手話人生を振り返り、社会を変えることは一朝一夕ではできないけれども、振り返ると確かに道ができています。この契機となる年に会員119人は大きな力、私たち一人ひとりが社会活動家である、自信をもって活動を続けていこう」と挨拶があり開会しました。第1号議案から第6号議案まで、20

24年度総括、決算報告、事業報告、2025年度活動方針案、予算案が全会一致で承認されました。

午後からは高知県聴覚障害者協会竹島春美会長による「聴覚障害者の活動の歩み」講演があり、参加者からはろう者が生活の中で物事を選択・自己決定できるよう情報を提供する為に手話の技術を磨き、ろう者の気持ちをしっかりと伝える。その為には一人ひとりを理解し信頼関係を築くことが大切。内容の濃い学習会となりました。

高知支部

あさいと 結核

「第39回定期総会～継続は力なり～」

4月26日、第39回定期総会を開催しました。参加者は役員が中心でしたが、次世代を担う若い方の新規入会もあり、にぎやかで活気あふれる総会となりました。また、総会には徳聴協の平理事長、尾澤理事にも参観いただき、組織間の強い絆を改めて実感することができました。

総会で提案されたすべての議案が無事に採決され、2025年度をスタートすることができました。昨年度は、久しぶりに会員数が60人を超え、徳島県手話言語条例が施行されるなど大きな前進の年となりました。今年度は、過去最高の会員数をめざすとともに、地域に根ざした活動を進めましょう。



午後からは、「手話Café ゆびっち®」が記念すべき100回を迎えました。今回もいつものように行き当たりばったりな展開でしたが、まずは戎支部長と平理事長との鼎談からスタートしました。後半は、人差指の形で表現できる単語をグループごとで出し合い、盛り上がりました。おやつタイムも和やかに過ごし、昔の手話表現で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。最後は、岡田店長の準備していた“手品”で締めくくり。アッと驚く巧みな手さばきに、参加者全員の視線が一点に集中し、店長の意外な一面が垣間見えるパフォーマンスとなりました。

これからも引き続き、第200回を目指してまいります！

徳島支部